

ライティングの Can-do statements の妥当性の検証
～自己評価と実際のパフォーマンスとの関係について～

工藤洋路 (東京外国語大学大学院)
根岸雅史 (東京外国語大学)
森本勝則 (ARCLE)

研究の目的

- 1 筆記テストで測定した英語力と現実場面における英語使用能力の関係性を明らかにする
(参考)「英語の手紙や電子メールで、自分が書きたいことを辞書を引きながら書くことができます。さらに書く練習を積むと、辞書なしでも大体のことは書けるようになるはずです。」(GTEC for STUDENTS スコアレポート「あなたの英語はこんなに使える」より)
- 2 学習者が自分の能力を的確に把握することができる言語能力記述の枠組みを構築する

調査方法

- 1 収集データ
日本人高校生の英語力全般ならびにライティング能力を測定
ベネッセコーポレーションの GTEC for STUDENTS を実施
同被験者の実際のライティングパフォーマンスを測定
Web 上で 6 種類の e-mail task を実施
同被験者に e-mail での英語ライティングについての自己評価を実施
Web 上で英語での e-mail 経験と達成度(達成推定度)について回答
- 2 データ分析
と の整合 … GTEC の各グレードにおいて、e-mail のパフォーマンスに関して、Can-do statement を記述する
と の整合 … e-mail での英語ライティングについての自己評価と実際のパフォーマンスを整合させ、学習者が自分の能力についてどう捉えているかを調査する
- 3 e-mail のパフォーマンスの評価
評価の観点
「課題達成(2点)」…想定される言語機能が達成されているか/プロフィール通りか
「内容伝達(1点)」…明確な伝達内容か
「言語表現(1点)」…e-mail のやり取りを想定しているか/理解可能な文法・語彙・表現か

結果

1 (GTEC)と (e-mail)の整合【O 高校:48 名】

	平均
GTEC Writing [6]	4.17
E-mail Task 1 [4]	3.94
E-mail Task 2 [4]	3.98
E-mail Task 3 [4]	3.94
E-mail Task 4 [4]	3.44
E-mail Task 5 [4]	3.52
E-mail Task 6 [4]	3.63

	GW	T1	T2	T3	T4	T5	T6
GW	1.00						
T1	0.05	1.00					
T2	0.26	-0.03	1.00				
T3	0.05	-0.04	-0.03	1.00			
T4	0.42	0.04	0.13	0.04	1.00		
T5	0.09	-0.14	0.11	-0.04	0.31	1.00	
T6	0.19	-0.11	0.36	-0.11	0.31	0.34	1.00

2 (e-mail)と (アンケート)の整合【O 高校:63 名、H 高校:21 名】

Q1 英語でのe-mail 経験			
ない		ある	
32	37	11	4

Q2 自己能力評価			
低		高	
21	47	13	3
(14)	(17)	(1)	(0)

	Q1	Q2	T1	T2	T3	T4	T5	T6
Q1	1.00							
Q2	0.60	1.00						
T1	-0.04	0.05	1.00					
T2	-0.02	0.14	-0.02	1.00				
T3	0.10	0.07	-0.06	-0.03	1.00			
T4	0.18	-0.06	-0.02	0.10	0.23	1.00		
T5	0.15	0.14	-0.16	0.06	0.18	0.36	1.00	
T6	0.16	0.15	0.02	0.24	-0.12	0.20	0.29	1.00

考察と課題

- 1 「感情を表す」言語機能が難易度が高い
- 2 E-mail を書くことに対しては自己評価が低い
- 3 被験者のレベルに合ったコミュニケーションタスクを設定し、適切に評価する方法の構築が必要
- 4 文章スタイルが異なると、学習者が示す能力が変化することを考慮することが必要

【参考】 GTEC for STUDENTS 習熟度ガイドライン WRITING

Grade 6	興味深い事例を取り入れながら、課題に沿った話の展開が完全にできている / 文章の構成がしっかりして、分や段落が論理的につながっている / 課題にふさわしい具体的が語句が、よく考えて選ばれている。
Grade 5	事例を取り入れながら、課題に沿った話の展開ができている / 接続語句を正しく使って、文章はまとまりよく構成されている / 使われている語句は正確で多様性に富んでいる
Grade 4	課題に沿った話の展開が十分にできている / 接続語句をうまく使いながら、論理的に整理された文章が書けている / 難しい語句を使おうとする努力が認められる / ごくまれにミスによって考えが伝わりにくいことがある
Grade 3	話の展開はやや不十分だが、具体的な事例を含めて、ほぼ課題に沿った内容が書けている / 分の多くは論理的に整理され、構文や語いにもいづらから多様性が見られる / 時にミスによって考えが伝わりにくいことがある
Grade 2	語いが少なく、文型・構文は単純なものであるが、英語で表現しようとする意思が認められる / 最後まで書けていない文や語順が不確かな文があり、考えが伝わりにくいことがある
Grade 1	文章が短く、ごく簡単な単語と文型で表現ができる / 文の一つ一つが最後まで書けていないことがある / 日本語を使って表現している部分がある

